

科目名	スポーツ現場での安全と健康管理							年度	2026
英語科目名	health and safety management							学期	前期
学科・学年	スポーツトレーナー科 1年次	必/選	選1	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	本郷	教員の実務経験		有	実務経験の職種		アスレティックトレーナー		

【科目の目的】

本科目では、JSP0-ATの役割における「安全・健康管理およびスポーツ外傷・障害の予防」の位置づけを理解した上で、科学的根拠に基づいた予防対応を組織的に計画し実践するために必要な知識、態度や技能を習得することをねらいとする。

【科目の概要】

- ・安全・健康管理およびスポーツ外傷・障害の予防の目的や意義およびJSP0-ATとして果たすべき役。
- ・スポーツ外傷・障害の予防の概念や発生要因について
- ・安全・健康管理およびスポーツ外傷・障害予防に関連する対象者の基本データを収集する目的や意義
- ・医、科学スタッフとの連携、更には各種データの活用法について
- ・理解し、安全・健康管理およびスポーツ外傷・障害予防を検討する際の根拠となる各種評価

【到達目標】

- A: スポーツにおける外傷・障害・事故・疾病の実態
 B: 安全・健康管理およびスポーツ外傷・障害予防におけるJSP0-ATの役割
 C: 安全・健康管理およびスポーツ外傷・障害予防のための各種評価と情報の活用

【授業の注意点】

スポーツトレーナーとしてのキャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。「現場実習」と併せて学習することで、より理解力が増すので積極的に実習に取り組む事。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック評価	レベル5 優れている		レベル3 ふつう		レベル1 要努力
到達目標 A	説明できる		理解している		あまり理解していない
到達目標 B	説明できる		理解している		あまり理解していない
到達目標 C	説明できる		理解している		あまり理解していない
到達目標 D					
到達目標 E					

【教科書】

テキスト

【参考資料】

【成績の評価方法・評価基準】

筆記テスト・課題・平常点

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名		スポーツ現場での安全と健康管理			年度	2026
英語表記		health and safety management			学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	スポーツ現場における安全・健康管理およびスポーツ外傷・障害予防の概念	スポーツ現場での安全と健康管理/外傷障害の予防について知る	1	スポーツ現場における安全・健康管理	スポーツ現場における安全・健康管理において理解する	2
			2	スポーツ外傷・障害予防の概念	スポーツ外傷・障害予防の概念について理解する	
2	スポーツ現場における外傷・障害・事故・疾病の実態	スポーツ現場での外傷・障害や疾病の実態を知る	1	重篤なスポーツ外傷	重篤なスポーツ外傷の理解	2
			2	運動器の外傷障害	運動器の外傷障害の理解	
			3	スポーツに関連する内科的疾患	スポーツに関連する内科的疾患の理解	
3	各種要因が安全・健康管理に及ぼす影響	安全・健康管理に影響を与える要因を知る	1	環境的要因	環境的要因が及ぼす影響を理解する	2
			2	用具・施設・設備	用具・施設・設備が及ぼす影響を理解する	
			3	生活習慣と心理的要因	生活習慣や心理的要因が及ぼす影響を知る	
4	安全・健康管理およびスポーツ外傷・障害予防に関連する組織体制		1	JSP0-ATの役割	スポーツ医学チームにおけるATの役割を知る	2
			2	組織	組織がもつ力を効果的に発揮するためのポイントを知る	
			3	注意事項	具体的に組織として注意すべき事項を知る	
5	安全・健康管理およびスポーツ外傷・障害予防を実施するにあたり把握すべき主な情報：対象者に関する理解		1	対象者の特性	対象者の特性の理解	2
			2	メディカルチェック・フィジカルチェック	医学的リスク/身体的機能的特徴の把握	
			3	コンディション	トレーニング状況・コンディションの把握	
6	安全・健康管理およびスポーツ外傷・障害予防におけるJSP0-ATの役割	安全・健康管理およびスポーツ外傷・障害予防を実施するにあたり把握すべき主な情報：環境に関する理解	1	外的危険因子	外的危険因子としてのスポーツ環境を考える	2
7	把握すべき主な情報：競技・種目特性に関する理解		1	競技特性を知る必要性	競技特性を把握する目的と必要性	2
			2	考え方と注意点	競技特性把握にあたっての考え方・留意点および方法	
			3	ツール	競技特性把握のためのツール	
8	重大事故発生に備えた対応		1	緊急時対応計画	重大事故発生時における緊急時対応計画	2
			2	関連するスキル	重大事故発生時に関連するスキルの習得と維持	
			3	検証と再発予防	重大事故後の検証と再発予防	
9	健康管理	健康管理システムとATの役割	1	健康管理システム	健康管理システムとJSP0-ATの役割を知る	2
			2	教育・啓発活動	健康管理に関するATとしての教育を考える	
10	健康管理	アンチドーピングとメンタルヘルス	1	アンチ・ドーピング	アンチドーピングを知る	2
			2	メンタルヘルス	メンタルヘルスが身体に与える影響を知る	
11	安全・健康管理およびスポーツ外傷・障害予防に関するデータの理解と活用		1	情報の理解	データの収集方法とその理解	2
			2	活用方法	収集したデータの活用方法を理解する	
12	安全・健康管理およびスポーツ外傷・障害予防のための各種評価と情報の活用	内科的メディカルチェックデータの理解と活用	1	内科的メディカルチェックの実態	内科的メディカルチェックの収集方法と実際	2
			2	内科的メディカルチェックのデータ活用	データの活用方法と比較、その適用を知る	
13	安全・健康管理およびスポーツ外傷・障害予防のための各種評価と情報の活用	整形外科的メディカルチェックデータの理解と活用	1	頭頸部・体幹	整形外科的テストの実際とその方法を知る	2
			2	下肢	整形外科的テストの実際とその方法を知る	
			3	上肢	整形外科的テストの実際とその方法を知る	
14	安全・健康管理およびスポーツ外傷・障害予防のための各種評価と情報の活用	フィジカルチェックデータの理解と活用	1	基礎知識	フィジカルチェックの実際とデータの活用方法	2
			2	身体的特徴データ	身体的特徴データの活用方法	
			3	身体機能データ	身体機能データの活用方法	
15	まとめ	JSP0-ATとしての安全管理を考える	1	スポーツ現場でのデータの活用を考える	データの活用方法を考える	2
			2	評価と予防について	評価を予防につなげることができる	

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考等